



# ひのみなみ 支えあいネットワークだより

## 2023年度の振り返りと今後の方向

日野南地域支えあいネットワーク連絡会 会長 上田 昭則

2023年度は“コロナ禍”も下火となり、各団体の活動も活発になりました。地域支えあいネットワークとしても、第4期地域福祉保健計画（港南ひまわりプラン／こころつなぐ日野南）の中間年度に当たり、その活動の推進に努めました。

12月の第3回連絡会では、定例会メンバーに加えて地域のオピニオンリーダーの方々の参加を得て、「在宅避難についてどのような考えを持って行動していくか」についての忌憚のない意見を出していただきました。今回はその要旨を掲載します。

さて、2024年度も地域の活動を進めていただきますが、これまで蓄積してきた実績や方向付けを更に地域へ定着させるにはどのような方法が効果的なのかを検討してまいります。

特に、次世代の方々への引継ぎをどのように行うかが課題となります。皆さまのお考えを是非お聞かせくださる様お願い申し上げます。



## 意見交換会のまとめ

2023/12/9 実施の「意見交換会」（防災・在宅避難後の助け合いについて）の内容をご紹介します。

今後はこの議論の結果に焦点を当て、何が欠けているのか整理をして少しでも前進させることが大切です。そのための啓発活動を今後も継続していくことが必要になります。

更に、能登半島地震を踏まえて、避難は難しい問題だと感じました。私たちの日野南地区では、「在宅避難」に焦点をあてるのがまずは重要と考えています。今までは地域防災拠点運営委員会が中心になって推進してきましたが、それには限界があり、これからは同時に自治会も対策本部の要として、一緒に取り組んでいかなければならないと思います。

## 全体の意見など

「災害時助け合いグループ」を活用し班長と連携し動ける人が活動する。具体論より先ずは対応する意識醸成を優先してはどうか。

いまだ「発災時は防災拠点へ避難」と考える人が多い。「在宅避難」が基本であることを周知する必要がある。

構成メンバー：日野南連合自治会、野村港南台自治会、港南つつじヶ丘自治会、グランヒルズ港南台自治会、コープ野村港南台自治会、地区社会福祉協議会、地区民生委員児童委員協議会、日野南小防災拠点運営委員会、保健活動推進員会、消費生活推進員の会、青少年指導員協議会、スポーツ推進委員連絡協議会、交通安全母の会、環境事業推進委員連絡協議会、日野南小学校、日野南小学校PTA、日野南中学校、日野南中学校PTA、野村港南台喜楽会、つつじヶ丘和楽会、iocco ひのみなみ

発行元：日野南地域支えあいネットワーク連絡会

事務局・問合せ：日野南地域ケアプラザ 045-836-1808

## 1. テーマごとのまとめ (①～⑥はグループ番号)

### ア. 在宅避難者と災害対策本部の情報連絡手段

- ①「助け合いグループ」を活用、但し担当業務の再確認が必要
- ②地域全体に発信できるシステムを検討 (防災放送?)  
日頃からの人のつながりが大事だ
- ③事情把握と意思疎通が大事・発災時安否表示を使用、  
また班長やグループリーダーが情報を伝えては?
- ④バンダナの活用・班長経由の情報集約
- ⑤自治会毎に対策本部を設置し拠点と業務を分担する  
拠点は行政との情報・避難所運営・物資配給 管理担当
- ⑥壁新聞 (班や助け合いグループが見に行く) 場所の明示が必要



#### アの検討課題

- A. 発災直後の安否確認
- B. 在宅避難継続時の情報連

### イ. 在宅避難中の要援護者の安否確認ルール作り

- ①声かけする事が重要 (通常時からの声かけの習慣) 動ける人で助け合う  
日頃からのつながりが大事
- ②動ける人が動く  
安否確認表示を出したらどうか?
- ③助け合いグループで安否確認できればよいが  
そのためにはグループ活性化が必要
- ④バンダナを目印に、動ける人が声かけ
- ⑤リストの共有化、隣り近所でサポート



#### イの検討課題

- A. 要援護者家庭の安否確認
- B. 怪我・病人家庭の安否確

### ウ. 支援物資配給のルール作りと配達手段のルート検討

- ③自治会防災部の連絡網の整備・活用 若返りと活性化・  
情報伝達組織の構築が必要
- ④受取の時間割計画、伝達手段にEメール使用
- ⑤班・組毎に人数・備蓄状況を調査しルールや配達検討  
届いた物資を住民に伝達する手段の検討、  
中高校生の登録・手伝いの組織化
- ⑥配給のルールを決め広報・認識を促す  
地域内でボランティア募集 (配給の支援に外部ボランティアが来る前に)



#### ウの検討課題

- A. 支援物資情報の収集
- B. 物資の受け入れ・整理
- C. 分配計画・分配 (対自治会)
- D. 分配計画立案・分配



## 2. 意見交換会で挙がった検討課題を含めた事項についての対応策案

No	具体的な事項	対応策(案)
1	「災害時助け合いグループ」の再確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 先ず、現状を再確認して、地域住民に周知すること。</li> <li>・ いざというときは“自助・共助”が主体になることを再確認する。</li> </ul>
2	「防災拠点」と「自治会・組・班」との関係の見直し・強化 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域防災拠点のメンバーは“ボランティア”なので、自治会が主体性を持つことを進めることを早急に検討する。</li> <li>・ 発災時の対策本部メンバーの確保をどうするか。</li> <li>・ 自治会内・班内の発災時の役割を再検討する。</li> </ul>
3	「要支援者・要援護者」「こども」の扱い 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 行政から入手している名簿の管理（保管、閲覧など）の再確認。</li> <li>・ 民生委員児童委員が把握している名簿の再確認・再整理。</li> <li>・ 自治会の班単位での住民名簿作成の検討。</li> <li>・ 小学生・幼稚園児・保育園児の出迎えの手順を家庭ごとに決めておく。</li> </ul>
4	「在宅避難者」の懸念 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 予め、建物の耐震性の再確認を行う。</li> <li>・ 食料などの備えの再徹底。→ 8</li> <li>・ 高齢者、在宅要援護者の避難先の確認を行う。</li> <li>・ 連絡方法の確保（スマホ以外の連絡方法）。</li> <li>・ 拠点立ち上がる時間が掛ることの認識と、その間の行動。</li> </ul>
5	「災害時協力員」の位置づけ・見直し	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現状の登録者の見直し、再募集を行う。</li> </ul>
6	「在宅避難者」の安全確認方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 玄関先に色つきの小旗などの表示を掲げることを再検討する。</li> <li>・ 向こう三軒両隣に連絡することを必須とする。</li> </ul>
7	「防災拠点内の避難所」の整備 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小学校体育館の収容人数（50名位）の拡大を考えられないか。</li> <li>・ 自治会館の利用を考えられないか。</li> <li>・ 各種のお知らせ・情報の連絡場所を、掲示板の外に設けて、時間を（午前、午後の2回）毎に掲示伝達することも考える。</li> </ul>
8	「支援物資」の配給ルール 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 供給場所を設定しておく。（公園、コミハ、icoccaなど）</li> <li>・ 荷物運搬用カートなどの準備をどうするか。</li> <li>・ 組・班毎の在宅避難者の数量を把握すること。</li> </ul>

## 3. 能登半島地震から学んだこと

能登では2018年頃から地震回数が増加傾向でしたが、油断もありました。日野南地区は比較的安全とされていますが、能登半島地震では危険判定の自宅にも留まらざるを得ない在宅避難者の例もあります。



日野南地区でも、在宅避難も含めて何をやらなくてはいいか整理して考えたいところです。

「在宅避難」が前提ですが、少なくとも次のことを準備しておきましょう。

- ① 建物の耐震構造の状態を予め調査して置く。必要な耐震対策をおこなう。
- ② 食料などの備蓄品を、ローリングストックを前提に準備しておく。
- ③ 家族間の話し合いを行ない、いざというときの連絡方法を決めておく。
- ④ 普段から近隣とのコミュニケーションを図り、自助・共助の基本を保つ。
- ⑤ 班内の連絡先を確認しておく。



## 「今年度の地域の主な行事予定」

2024.4.30

現在

No	行事名・開催日	主催	場所	参加対象者	実施内容/検討状況
1	坂のまちのフェスティバル 2024/4/27(土)	坂のまちの交流会 実行委員会	日野南公園	地域内外の住民(誰でも可)	地域の事業者やボランティアと住民の交流の場としてのイベント 昨年は1,000人近い人が参加した
2	日野南カレー屋さん 2024/4/27(土) 次回12/1(日)、 外1回	世代間交流を進める会	自治会館	地域のどなたでも可能	4/27は上記の「坂のまちのフェスティバル」と同時開催だが、会場は自治会館となる 年3回開催予定
3	わかばの会(春) 2024/6/30(日) 「秋」の日程未定	地区社協 わかばの会	日野南 地域ケア プラザ	地域の高齢者はどなたでも可	春は地域の有志の演技やカラオケなどを楽しむ 秋には日野南小学校との交流も行う
4	シルバー喫茶 S地区N地区 月1~2回	地区社協	個人宅、 ioccoa、 鍛冶ヶ谷 南公園	地域の高齢者はどなたでも可	コスモス(個人宅/第4金)、ぼちぼちカフェ(ioccoa/第4月)、おしゃべりパーク(鍛冶ヶ谷南公園/第2・4火)で開催 何処にいてもどなたも参加できる
5	新1年生を祝う会 7/7(日) 1400-1600	連自治会	日野南 コミュニティ ハウス	地域の 新1年生	新1年生・保護者を招き、「スイカ割り大会」と懇親会の開催
6	お楽しみ工房 7/28(日)	地区社協	自治会館	地域の子供たち	昆虫・どんぐりアート・ペーパークラフトや昔遊びを楽しんでいただく 甘味処も設ける
7	富士見夏祭り 8/17(土)18(日)	日野南近隣の5自治会・町内会の実行委員会	日野南公園	港南区・栄区の5自治会・町内会のどなたでも	盆踊り・出演イベント・模擬店で故郷を偲んでいただく 2日間で延べ1,000人以上を見込む
8	日野南スポーツフェスタ/キャンドルナイト 10/13(日)	連自治会 地区社協 実行委員会	日野南小	小・中学生、地域の誰でも可	全世代参加可能なスポーツイベント キャンドル・ナイトも同時開催
9	地域合同防災訓練 10/19(土)	日野南小 防災拠点 運営委員会	日野南小	拠点参加自治会の住民・小学校	6自治会の住民参加による合同訓練
10	坂のまちのハロウィン 10/31(木)	「坂のまちの交流会」実行委員会	環3沿いの協力店	地域のどなたでも可能	地域事業者・団体の協力により、子ども・保護者対象のパーティを開催
11	日野南アート展 11/16(土)17(日)	アート展実行委員会	日野南 コミュニティ ハウス	出展者:地域住民 だれでも鑑賞	地域住民(小・中学生も)の作品展示会
12	地域合同お楽しみ会 2025/1/11(土)	お楽しみ会 実行委員会	日野南小	日野南小・中学生と地域住民	小学生向けのイベント・ゲーム・食事などで楽しんでもらう

